

生物多様性あかし戦略の改定について

本市では、2011年(平成23年)3月に「生物多様性あかし戦略」を策定し、生物多様性の保全にかかる施策を実施してきました。

2023年(令和5年)3月には、国が「生物多様性国家戦略」を改定し「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を掲げたことを踏まえ、同年10月に明石市環境審議会に諮問し、国家戦略などとの整合を図り、明石の自然環境の変化に合わせた「生物多様性あかし戦略」の改定に取り組んできましたが、その結果について報告します。

1 戦略の内容

- (1) 目標年度：2050年度
- (2) めざす環境将来像(2050年ビジョン)：「人と自然が共生する“あかし”を未来につなぐ」
- (3) 基本戦略：2050年ビジョンを達成するため、2050年ゴール(基本方針)として、「健全な生態系の保全」、「劣化している生態系の回復」、「生物多様性に関する普及啓発」を設定するとともに、3つのゴールに関する基本施策をミッションと位置づけ、取り組む13のミッションを掲げ、2030年までのロードマップとして、24の取組を示しています。

2 審議内容・経過

明石市環境審議会に諮問し、同審議会自然環境部会でのご意見を踏まえるとともに、専門家等で構成する生物多様性あかし戦略推進会議を開催し、明石の自然環境の変化に対応するため必要な取組に対する意見をいただくほか、ネイチャーツアーや市民ワークショップ、生物多様性フォーラムなどの機会を通して市民の意見を聴取し、戦略に反映しました。

【市民意見聴取等に関する取組】

内容	開催・実施状況
明石市環境審議会へ諮問	令和5年10月30日
講座「あかしの自然を学ぼう」	令和6年1月14日
生物多様性フォーラム	令和7年2月9日ほか2回
生物多様性市民ワークショップ	令和7年6月29日
明石市環境審議会自然環境部会	令和7年7月4日
生物多様性あかし戦略推進会議	令和7年7月28日
専門家からの意見聴取	令和7年10月7日
ネイチャーツアー	令和7年11月29日ほか5回
明石市環境審議会自然環境部会	令和7年11月5日
生活文化常任委員会への素案の報告	令和7年12月11日
ネイチャーポジティブ宣言に係る議案提出	令和7年12月
パブリックコメント	令和8年1月1日から令和8年1月31日まで
ネイチャーポジティブ宣言式	令和8年1月18日
明石市環境審議会自然環境部会	令和8年2月20日午前
明石市環境審議会	令和8年2月20日午後
明石市環境審議会からの答申	令和8年2月24日

3 戦略素案についての意見等

- (1) 12月議会生活文化常任委員会
同委員会においてお示した素案について、2件のご意見をいただきました。

No.	意見の概要
1	大切にしたい場所」と記載している場所は、個人の土地も含まれている。個人の土地を市が「大切にしたい場所」とするのは書き過ぎではないか。
2	本市にコウノトリが多く飛来するようになっている。コウノトリが毎年明石に来ることは生物多様性が豊かな証明である。コウノトリについて記載するべき。

(2) パブリックコメント

令和8年1月1日から31日までパブリックコメントを実施し、3名から5件のご意見をいただきました。

No.	意見の概要	市の考え方
1	生物多様性についての定量的な目標値を示し、それを目標値として活動を管理する必要があると考えます。指標の提示自体が試み、トライと断言しても問題ないと思います。指標に対応した数値を出すための観測や集計作業が予算的に難しい場合、市民ボランティアも募集してよいのではないのでしょうか、明石市において、生物多様性を指標で管理することができれば、他市町村に対しても明石の先駆的取り組みとして誇ることができると思われます。ぜひトライして欲しいと期待する次第です。	生物多様性の定量的な目標設定および指標による管理は非常に意義深いものですが、自然環境の評価指標につきましても、種の豊富さ、種の多様性指数、固有種の増加などがありますが短期間での変化が見えにくく具体的な自然環境がどこまで回復したのかを数値化することは難しい状況であります。 また、市民ボランティアの活用においても観察精度やデータの信頼性に課題があるため、慎重な対応が求められます。 そこで、24の目標（戦略P53,54）を定め、進捗管理を行いたいと考えております。
2	生物多様性を保全・維持するための活動は示されていますが、ネイチャーポジティブ、すなわち生物多様性を向上させるための方法論や活動内容については具体的に記載されていないと思われま。生物多様性を向上させるための取り組み内容やその場合の目標値などを記載する必要があるのではないのでしょうか。	国のめざす「30by30目標」に貢献するため、自然共生サイトの認定を目指すこと、ビオトープを活用した希少種の生息域外保全の取り組みがネイチャーポジティブを目指すことのひとつであると考えます。
3	海洋ごみの問題も生態系に大きな影響を与えていることがあると思います。海洋ごみについて、コラム等で記載してはどうでしょうか。	海洋ごみについてのコラムを追加します。
4	ミッション5に関して、P34では「種の現況を把握します」とあり、P50では「生物種の現況を把握します」となっています。統一した方がいいかと思ひます。	「種の現況を把握します」とします。
5	ミッション2に関して、何を保全・向上させていく仕組みなのか、ちょっと説明不足な印象。保全・向上させていく対象（生態系、自然環境、生物多様性）を文章のアタマに入れられないでしょうか。	ミッション2の上位に「ゴール1健全な生態系を保全する」とありますので、健全な生態系を保全していくものです。 わかりやすくするために「健全な生態系をより積極的に保全する仕組みを作ります」と記載します。

- (3) 明石市環境審議会自然環境部会
同部会において、2件のご意見をいただきました。

No.	意見の概要	市の考え方
1	パブリックコメントの意見1と同じになるが、指標を持って定量的に進捗管理することは重要と考えます。例えば、農地やため池でのスズメの生息数などやり方はあると思います。	定量的な目標設定および指標による管理は重要と認識をしているところですが、明石で何の種を指標にするかなど、様々な状況化で変化する環境下での指標選定ができる状況ではありません。今後、国が明確に指標とするものが提示されればそれを参考に指標化を検討させていただきます。
2	P34 海岸から水深5mとあるが50m程にもっと沖合まで対象にできないか	水深5mとしているのは、海藻が概ね育つ水深を設定していること。また、市民が活動できる範囲を考え設定しています。

4 素案からの主な修正点等

- ・「大切にしたい場所」を「まとまりのある自然」に変更
- ・コウノトリについてコラムを追加
- ・パブリックコメントの意見3, 4, 5を反映し文言追加

- 5 生物多様性あかし戦略改訂版について
2026年3月末までに公表予定
詳細は別添のとおり